

千葉北西連絡道路シンポジウム開催



千葉北西連絡道路シンポジウムで意見を述べる、グッドマンジャパンの坂本聖司氏

国道16号の慢性的な渋滞解消を目的に、印西市と野田市を結ぶ計画の「千葉北西連絡道路」について理解を深める「千葉北西連絡道路シンポジウム」が11月10日、我孫子市本町の県ふれあいプラザで開かれた。

集会では、国土交通省千葉国道事務所の小島昌希所長が「千葉北西連絡道路の検討状況について」と題し、

千葉北西連絡道路の必要性訴え

千葉北西連絡道路が整備される利点として、高速道路のインターチェンジへのアクセス向上で、速達性の向上や産業の活性化などの点を説明した。

また、東京理科大学の寺部慎太郎教授は「広域的な幹線道路ネットワークと地域づくり」として、千葉北西連絡道路が地域にもたらす効果などを講演した。

パネルディスカッションでは、沿線自治体の柏、印西、野田、我孫子の各市長や企業関係者が登壇し、それぞれの立場から千葉北西連絡道路の必要性を訴える意見を述べた。

このうち、印西市内で物流施設やデータセンター事業を展開するグッドマンジャパンの坂本聖司氏は、顧客である複数の物流事業者からのヒアリング内容として「国道16号線の渋滞により所要時間が一定でなく

読みにくい」「大型車両規制がかかる道路も多く、トラック等の大型車両が通る代替道路が無いことに不便を感じる」など、道路整備が不十分のために生じる問題点を紹介した。

【シンポジウムの詳しい講演内容の音声などは、利根新報WEB版で公開】



追悼のことばを述べる、印西市遺族会の小川博之会長

戦没者を追悼し平和を祈念する「印西市戦没者追悼式」が11月10日、印西市浦部の松山下公園総合体育館で執り行われた。

式典では、戦没者遺族や市関係者など会場の参加者らが黙とうを捧げ、77年前の大戦で亡くなった戦没者を追悼した。

印西市遺族会の小川博之会長が「世界ではロシアに

遺族代表ら平和を祈念 印西市戦没者追悼式

我孫子市長選挙 立候補予定者説明会に 星野氏陣営のみ出席

来月1月15日告示、1月22日投票の我孫子市長選挙の立候補予定者説明会が11月10日行われ、現職で5期目を目指す星野順一郎市長(64)は写真陣営のみが出席した。事前審査は12月21日から23日頃を予定。星野氏は2007年の我孫子市長選で初当選し、現在4期目。前回の19年の市長選では2万6082票を獲得した。前回の投票率は40.86%。

あなたに輝く 仕事があります

みらい
みらいキャリア&ワークス

障がい者就労支援機構
みらいキャリア&ワークス

〒270-1335
千葉県印西市原1-2
BIGHOP ガーデンモール印西
https://miraicw.jp/

0476-33-7500

※対象者
18歳～65歳未満で障がいをお持ちの方

踏み出す勇気 来む!

見学・体験 随時募集中!



2019年に行われた六軒殿島神社年越し神輿の様子(下総誠粋會提供)

市内の神輿の担ぎ手同好会「下総誠粋會」の宮本明会長によると、年越し神輿は1991年に地域の振興と活性化を図るとともに、地域住民の親睦と融和を深める目的で始まった。

開催のきっかけは、宮本会長が34年前に茨城県内の年越し神輿行事に参加し、二代目会長の故・斎藤節男・最高顧問に「ウチもやりませんか」と打診して始まった。

「年越し神輿を開始して新しい気持ちで新年を迎えさせてほしい」と、再開を望む声が多かったという。会員たちに意見を聞いたところ、全員一致で再開を支持し、地元自治会からも開催の要望が上がったため、今年の再開を決めた。

宮本会長は今年7月25日に死去した斎藤前会長に触れ「前会長も30回大会を楽

年越し神輿 コロナ禍乗り越え3年ぶり復活へ!!

印西市大森の六軒殿島神社で毎年12月31日夜に行われる「六軒殿島神社年越し神輿」が、今年度は新型コロナウイルス感染症防止対策を取り、2019年以来3年ぶりに開催される予定だ。今年で30回目の節目とあって、関係者たちは「来年をいい年で迎えよう」と意気込みを見せる。

市内の神輿の担ぎ手同好会「下総誠粋會」の宮本明会長によると、年越し神輿は1991年に地域の振興と活性化を図るとともに、地域住民の親睦と融和を深める目的で始まった。

開催のきっかけは、宮本会長が34年前に茨城県内の年越し神輿行事に参加し、二代目会長の故・斎藤節男・最高顧問に「ウチもやりませんか」と打診して始まった。

「年越し神輿を開始して新しい気持ちで新年を迎えさせてほしい」と、再開を望む声が多かったという。会員たちに意見を聞いたところ、全員一致で再開を支持し、地元自治会からも開催の要望が上がったため、今年の再開を決めた。

宮本会長は今年7月25日に死去した斎藤前会長に触れ「前会長も30回大会を楽